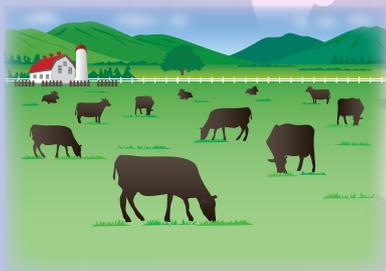


# ゲノミック評価活用による 和牛産地活性化 モデル事業

令和6年3月

- I 子牛のG評価情報を活用した市場、産地の活性化
- II 脂肪酸組成の見える化に取り組むブランドへの支援
- III G評価を活用した活用事例の普及、情報交換



# 子牛のG評価情報を活用した市場、産地の活性化

- ▶ いままでには無かった去勢子牛のG評価を市場名簿に掲載
- ▶ 肥育農家は能力予測ができ効率的な肥育が可能
- ▶ 魅力ある情報の付加により購買者の増加が期待できる

## 繁殖農家

子牛のG評価を  
実施

枝肉6形質  
脂肪酸組成



## 子牛市場

市場名簿に  
G評価情報を  
掲載

雌牛G評価に加え  
去勢牛G評価も表示



## 肥育農家

G評価情報を持つ  
子牛購入により、予測能力に  
応じた肥育を実施

肥育成績とG評価の  
関係性を実感し、G評価  
情報を求めて子牛市場へ  
戻ることが期待

市場  
活性化

市場頭数の増加・購買者の増加による  
家畜市場および産地の活性化

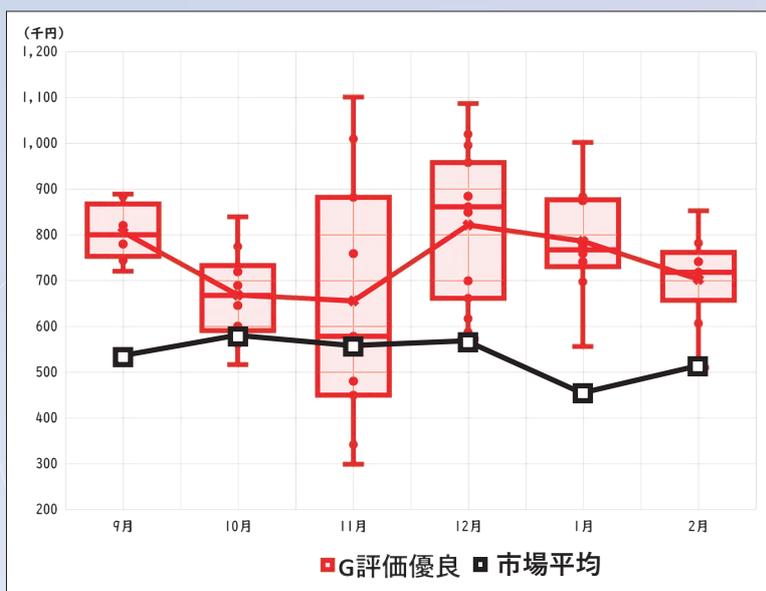


# I

## ～あきた総合家畜市場での取り組み～

### ② G評価優良牛と平均取引価格の比較

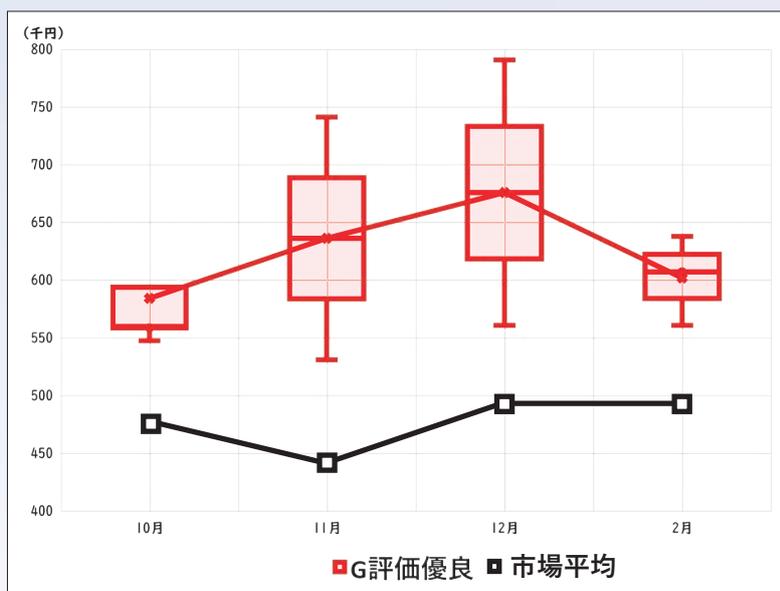
#### 去勢



殆どのG評価優良牛は市場平均を超えて取引されているようだ。



#### 雌



雌は頭数は少ないけど、高い評価を受けて取引されているぞ！  
血統、発育状態など別の要因もあるけど、G評価優良牛は高く評価されてるみたいだ。



## II

### 和牛ブランド化に取り組む地域への支援

# 脂肪酸組成の見える化に取り組む ブランドへの支援

- ▶ 計測した脂肪酸組成率を明示した牛肉の販売
- ▶ 脂肪酸組成の一定割合以上に差別化ブランド名を付与
- ▶ 消費者は差別化ブランド牛肉の口融けの良さの違いを実感

#### 繁殖農家

母牛の**G評価**を  
実施

- ・ 枝肉6形質
- ・ **脂肪酸組成**  
を意識した  
生産基盤を整備



#### 地域の肥育農家

市場出荷牛の  
**脂肪酸組成**を分析

出荷牛の  
**脂肪酸組成**の  
分析結果を  
**見える化**



#### ブランド化検討

ブランド化の支援方  
策を検討

産地、**脂肪酸組成**な  
どの指標や表示方法  
を検討し、ブランド  
の**見える化**等の支援  
方策を検討

ブランド化

小売牛肉に食味情報を付与することで  
消費者が差別化ブランドの違いを実感

## II

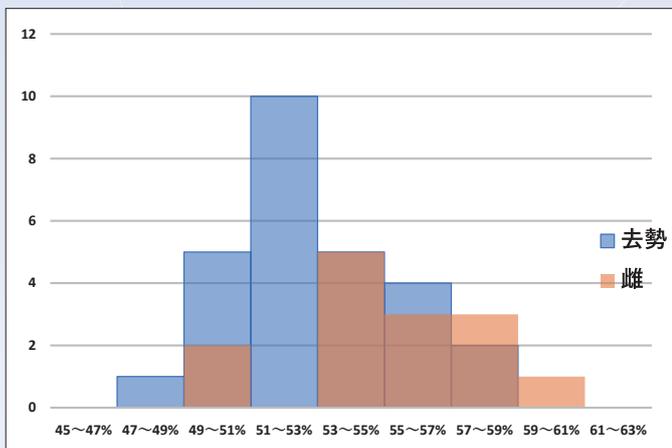
# ～愛知東農業協同組合での取り組み～

- ・愛知県JA愛知東管内ブランド牛である「特産鳳来牛」の、<sup>ほうらいぎゅう</sup>食肉市場出荷前の肥育牛のオレイン酸含有量、一価不飽和脂肪酸（MUFA）のG評価を実施しました。
- ・食肉市場出荷後に枝肉の脂肪からオレイン酸含有量、MUFAを測定し「特産鳳来牛」の現状を把握し、また、G評価との関係を確認しました。

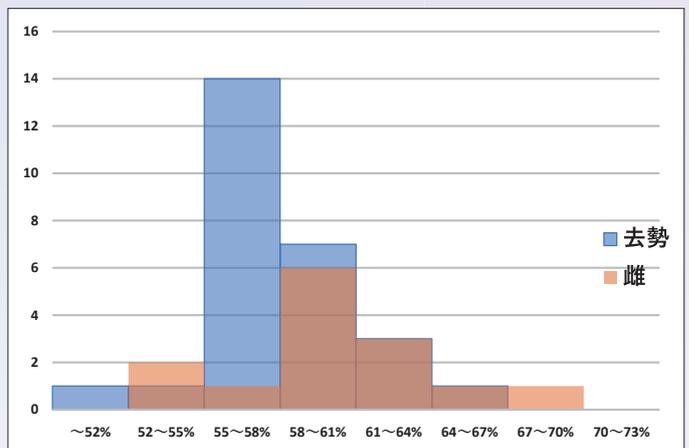


### ① オレイン酸およびMUFAの測定値分布状況

オレイン酸測定値分布



MUFA測定値分布



- ・オレイン酸は去勢は51%~53%に多く、雌は53~55%に多く分布していました。
- ・MUFAは去勢は55~58%に多く、雌は58~61%に多く分布していました。

出荷されているブランド牛肉の現状が分かったから、ブランド指標を策定の検討材料となりそうだ！

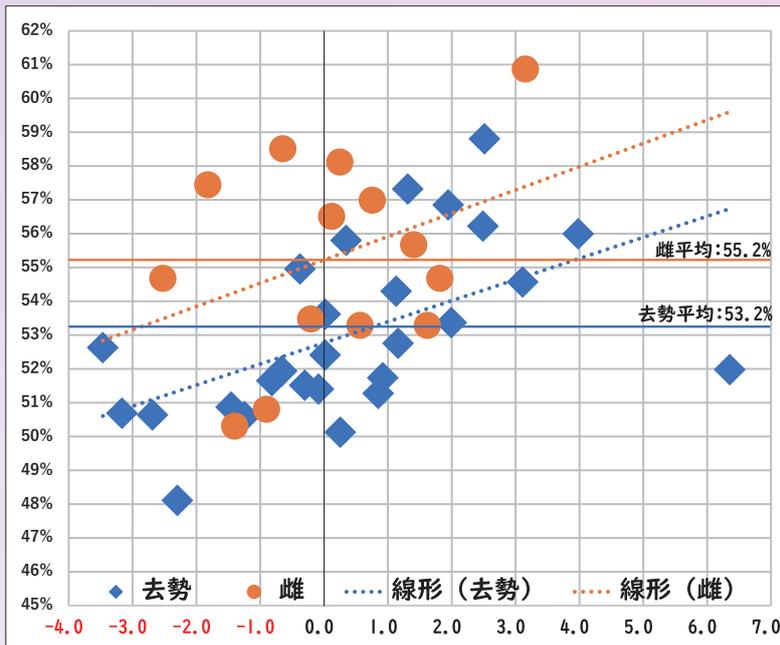


## II

# ～愛知東農業協同組合での取り組み～

## ② オレイン酸およびMUFAのG評価と測定値の関係

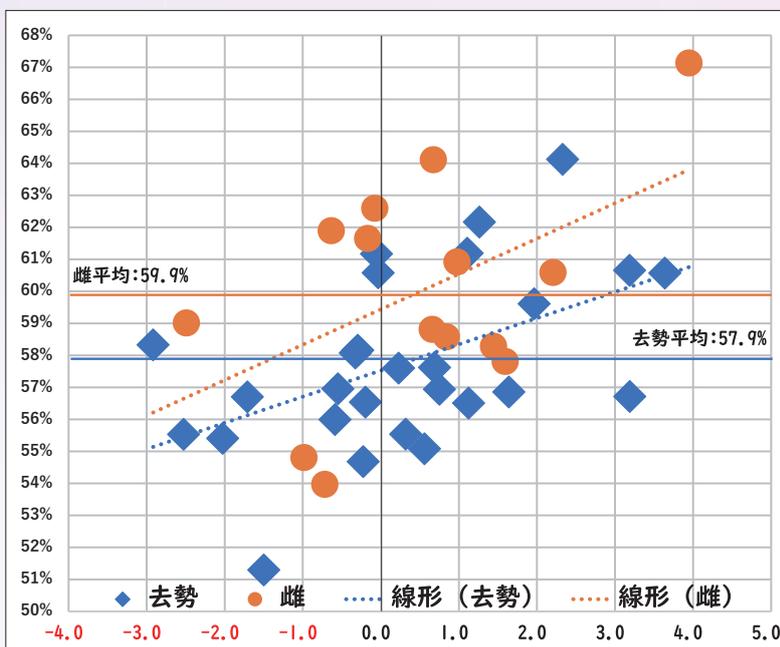
### オレイン酸 G評価-測定値



オレイン酸、MUFAのG評価の高い肥育素牛を揃えれば、脂肪の質の良い枝肉が安定して生産できそうだ。



### MUFA G評価-測定値



母親のG評価が分かっているならば、効率よく脂肪酸組成能力の高い子牛を生産できるぞ！  
早速 **G-Eva** で種雄牛を選んでみよう！





## 産地活性化普及推進事業

# G評価活用した活用事例の普及、 情報交換

- ▶ 全国または各地域の農協や生産者団体関係者を参集し情報交換会を開催
- ▶ 事業成果をまとめた普及資料の作成・配布
- ▶ HPや広報誌へ紹介記事を掲載するなど広報活動の展開

### 事業成果

- ・ G評価活用による家畜市場および産地の活性化が進む
- ・ 脂肪酸組成を見える化した牛肉ブランドの差別化・見える化が可能となる

### 情報交換会開催

- ・ 農協等生産者団体や生産者から今後のニーズや課題の意見交換を行う
- ・ G評価活用モデルとその効果を、広く周知・普及



### 広報活動

- ・ 事業概要、取組み成果をまとめたリーフレットを作成し配布
- ・ LIAJ HPやSNS等に紹介記事を掲載する
- ・ 広報誌への紹介記事を掲載

## 活性化に 貢献

他地域でもG評価活用が拡大し、産地活性化が進むことで

**畜産経営の安定化、  
食味観点から取組むブランドの増加**